

平成26年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：保健体育課
 担当名：学校体育担当
 内線：6947

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B47	運動部活動指導の工夫・改善支援事業			一般会計	教育費	保健体育費	体育振興費	学校体育振興費	
事業期間	平成26年度～平成28年度	根拠法令	スポーツ基本法				戦略項目		
							分野施策	020103 子どもたちの健やかな体の育成	
<p>1 事業の概要</p> <p>今日の部活動の現状として、教員の高齢化、練習や引率の負担増があり、学校教育の一環として組織的な指導体制の確立や、体罰を根絶した適切な指導が求められている。そこで地域のスポーツ指導者を活用することで、組織的な指導体制の整備や適切な指導内容・指導方法の定着を図る。</p> <p>(1) 地域スポーツ指導者活用事業 1,438千円 国との委託契約金額が予算を下回ったことに伴う減(指導回数の減)</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 地域スポーツ指導者活用事業 3,171千円</p> <p>(ア) 運動部活動等推進委員会 各競技別のスポーツ指導者の確保及び登録、また、適切な指導方法等についての研修会を実施する。</p> <p>(イ) スポーツ指導者派遣 県立学校へ指導者を派遣する。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 運動部活動推進委員会 競技別研究協議における指導の在り方や体罰防止、事故防止等に係る協議を行い、学校とスポーツ指導者の連携体制の在り方を協議する。</p> <p>イ スポーツ指導者派遣 県立学校へ指導者を30人派遣し、適切な指導内容・指導方法を定着させる。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>地域指導者の効果的な活用について研究することで、学校においては組織的な指導体制の整備や、運動部活動の適切な指導法の定着、運動部活動の活性化が図られる。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況</p> <p>地域の専門性を有する指導者を活用することができる。</p> <p>(5) 補正予算の概要</p> <p>ア 地域スポーツ指導者活用事業：文部科学省との委託契約金額が予算を下回ったことによる減額(指導回数の減)</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分 (国10/10・県0)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況 なし</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.2人=1,900千円</p>									
予算額		財 源 内 訳							
		国庫支出金						一般財源	補正後の 予算額
決定額	1,438	1,438							1,733
現計額	3,171	3,171							